



2016 年度 杏林大学 一般入学試験

I

(ア)① (イ)④ (ウ)② (エ)④ (オ)①
(カ)④ (キ)① (ク)② (ケ)③ (コ)②
(サ)① (シ)② (ス)② (セ)① (ソ)③

II

(ア)③ (イ)① (ウ)② (エ)③ (オ)②

III

(ア)① (イ)① (ウ)③ (エ)③ (オ)④
(カ)④ (キ)② (ク)④ (ケ)④ (コ)④

IV

(ア)② (イ)④ (ウ)② (エ)④ (オ)③
(カ)① (キ)③ (ク)④ (ケ)③ (コ)①

(サ)① (シ)① (ス)④ (セ)② (ソ)②
(タ)③ (チ)③ (ツ)① (テ)③ (ト)①



2016年度 杏林大学 一般入学試験

【 講 評 】

・全体講評

出題形式、設問数ともに例年通りであった。ただ、大問1の文法・語彙問題が難化し、大問2の会話文問題も難化したため、全体的に60分の試験時間ではやや厳しいものとなった。大問4の長文読解問題の「内容真偽」は例年通りの杏林大独特のものだが、「杏林大対策講座」を受講したビッグバン生なら効率的に処理できたはずである。

I. 適語選択問題(文法・語法・語彙)	難易度： 難
熟語集であり見かけない熟語(ア)や、問題文だけでは状況が把握しづらい問題(ス)で考えさせられた。杏林大の特徴である「接続詞の問題(関係詞・間接疑問文を含む)」などは例年通りであった。	
II. 会話文問題	難易度： 並
昨年までに比べて、英文の量が増加し、さらに、5つ会話文が1つのつながったストーリーになったことが、今年の大きな変更点である。ただ、レベル的には難しいものではない。	
III. 正誤問題	難易度： 並
「名詞の単数 or 複数・加算 or 不加算」や、毎年出題されている「主語と熟語動詞の呼応」など例年通りの出題であった。	
IV. 長文読解問題	難易度： やや難
「内容真偽問題」が中心だが、杏林大の一番の特徴である「本文から推察されることはどれか?」という、該当箇所が本文のあちらこちらに散らばっている面倒なタイプの設問が、去年に比べて増加し、2013・2014年の感じに戻った。設問処理の手順がカギである。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・昭和大・近畿大・藤田保衛大・大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276